

～一人一人の子どもを大切にするために～

「学校」の取組

◆いじめへの対応

- 児童生徒が中心になっていじめ問題について考える集会（「いじめ見逃しゼロスクール集会」）などを工夫し、いじめの未然防止に努めます。
- いじめの認知を積極的に行うとともに、「報告・連絡・相談」を確実にし、全校体制で組織的に対応します。

◆不登校への対応

- 「不登校リスク」のある子どもへの組織的な対応や、「子どもと共に1・2・3運動」（学校を欠席した日から電話や家庭訪問を行って子どもの様子を把握する）を確実にし、不登校の未然防止と丁寧な初期対応に努めます。
- 教育センターの適応指導教室「マイルーム」や相談員の活用、SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）との連携など、一人一人の子どもの状況に応じて適切に対応します。

◆保幼小中連携

- 途切れない子どもの成長を目指して園・小中学校が互いに情報を共有し、子どもの学びを支えます。



～小千谷市教育の充実のために～

「教育センター」の取組

◆理科センター機能及び教職員研修の充実

実践的な理科教育事業を推進するとともに、若手教員の育成や新学習指導要領に対応した研修の充実を図ります。

◆教育相談・適応指導教室「マイルーム」の取組

悩みや困り感に応じた相談や子どもの居場所づくりに努め、学校生活に適應できるよう支援します。

◆視聴覚教材・機器の貸出

園や学校、PTA、社会教育団体へ視聴覚教材・機器を無料で貸し出します。

《小千谷市教育センター》TEL・FAX 0258-82-6750

〒947-0031 小千谷市土川1-5-53 E-mail k-center@city.ojiya.niigata.jp

～子どもの望ましい生活習慣づくりのために～

「家庭」の取組

◆メディアコントロール・家庭学習

家庭で決めたメディア（テレビ、ゲーム機、スマートフォン、タブレット、パソコンなど）の使用ルールやGIGAパソコンの使用ルールを守り、家庭学習に取り組みます。

目安として、小学生は夜9時から、中学生は夜10時からゲーム機やパソコン、スマートフォンなどのメディアは使用しません。

◆食べて動いてよく寝よう

子どもの成長に必要な睡眠時間を確保し、朝はしっかりご飯を食べて、進んで体を動かします。

※望ましい睡眠時間（6～13歳：9～11時間、14～17歳：8～10時間）
文部科学省「早寝早起き朝ご飯で輝く君の未来」より

◆お手伝いの推進

子どもも『家庭の仕事1役割』を受けもち、家族の一員としての自覚をもちます。

『小千谷市PTA連合会』は、子どもたちの健やかな成長を目指し、上記の内容に積極的に取り組みます。



～地域の未来を創る子どもを育てるために～

「地域」の取組

◆学習ボランティアや地域部活動などへの参加

学習ボランティアなど、学校の教育活動に積極的にかかわり、子どもの学習や活動を支えます。また、休日の部活動の地域移行にともない、子どもの部活動を支えます。

◆見守りボランティアなどへの参加

見守りボランティアや子どもへの声かけなど、子どもの安全・安心を守る活動に地域全体で取り組みます。

◆地域行事への子どもたちの参加促進

子どもが参加できる地域行事を行い、子どもとともに地域活動を進めます。

2022～2024年度

おぢやっ子 教育プラン

自ら考え 心豊かに
たくましく生きる 小千谷の子ども



「おぢやっ子教育プラン」に寄せて

小千谷市教育委員会は、第五次小千谷市総合計画の教育分野の基本目標「人を育み文化の香るまちづくり」の実現に向け、全市で取り組む学校教育の指針として「おぢやっ子教育プラン」を定めています。

この教育プランでは、小・中・特別支援学校新学習指導要領の全面実施を受け、「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現、そのための「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」、個別最適な学びや情報活用能力の育成に繋がる「ICTの活用」など、教育の新たな流れを具体化し、「自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども」の育成を目指します。

小千谷市教育委員会では、「目指す子どもの姿に迫る4つの柱」や、『たて糸（学校）とよこ糸（家庭・地域）がおりなす小千谷のひとづくり』の視点から、「学校」「家庭」「地域」「行政」が連携し、深い愛情と信頼にあふれた小千谷の教育風土を培い、一人一人の子どもたちの可能性を伸ばすように努めていきます。

併せて、現在学校をめぐる「チームとしての学校」や「教員の働き方改革」などの課題解決に取り組んでいきます。

小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内4-1-38

TEL 0258-83-3519 FAX 0258-83-5779

E-mail school@city.ojiya.niigata.jp

おちゃっ子 教育プラン

自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども



- 深く考える ○主体的に取り組む ○善悪の判断ができる ○感謝する心をもつ ○相手を思いやる ○協力して取り組む
- あきらめずにやりとげる ○命を大切にする ○健康な身体をつくる ○ふるさとを大切にする ○夢や目標をもって取り組む

確かな学力

学校の役割

学ぶ意欲を高めるとともに、学び合いを通して考えを深め、学力向上を図ります。

家庭の役割

家庭学習が継続できるように学習環境を整え、励まします。

豊かな心

学校の役割

人との関わりや感動体験を大切にし、自己肯定感・自己有用感を育みます。

家庭の役割

あいさつ、感謝、奉仕など、モラルを高め自立心を育みます。

健やかな体

学校の役割

多様な運動の経験を通して、運動が好きな子どもを育て、体力向上を図ります。

家庭の役割

食事や睡眠、メディア使用時間など、よりよい生活習慣づくりに努めます。

ふるさとと夢づくり

学校の役割

「ふるさと小千谷」に誇りを持ち、夢に向かって進む礎をつくります。

家庭の役割

家族の会話を大切にし、ふるさとのよさを伝え、夢や希望を応援します。

目指す子どもの姿に迫る4つの柱

家庭〈心の拠り所〉

- ・子どもの話に耳を傾け、家庭でのコミュニケーションを大切にします。
- ・家庭の中でも外でも、しっかりとしたあいさつができるようにします。
- ・家庭でGIGAパソコンやメディア使用について話し合い、ルールを決めて守るようにします。

地域〈見守り支える所〉

- ・地域全体であいさつを交わし、子どもをあたたかく見守ります。
- ・地域の行事や活動、スポーツなどを通して、子どもの豊かな学びや成長を後押しします。
- ・子どもの安全・安心を守る活動に、学校、家庭と連携して取り組みます。



よこ糸

ふるさと教育

- ・小千谷の自然、歴史、文化、産業を学び、郷土を愛する子どもを育てます。
- ・身近な地域の教育資源を活用し、多様な人との交流や体験的な学習活動を進めます。

キャリア教育

- ・夢や希望を持ち、その実現に必要な5つの力を育みます。(社会形成力、自己管理能力、課題対応力、夢を起す力、郷土を愛する力)
- ・身近な人から生き方を学んだり実際に職業を体験したりするなど、地域に根ざしたキャリア教育を進めます。

防災教育

- ・災害対応の方法を学び「自分の命は自分で守る」防災意識をもった子どもを育てます。
- ・「おぢや防災塾」や防災給食、そなえ館の活用などを通して、防災教育を進めます。

特別支援教育

- ・一人一人に合った教育の充実により、障がいのある子の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加できる力を育てます。
- ・総合支援学校のセンター的機能や教育センターを活かし、相談支援ネットワークの充実を図ります。

人権教育、同和教育

- ・「考え、議論する道徳」の授業を推進し、互いに認め支え合う心を育てます。
- ・現地研修などの研修の充実により、人権意識を高め、「かかわる同和教育」を進めます。

ICT教育

- ・基本的な操作、問題解決における情報活用、プログラミング、情報モラル等の学習により「情報活用能力」を育てます。
- ・ICT機器の有効活用により、分かりやすく意欲的な学びを推進し、「個別最適な学び」の実現を図ります。

よこ糸

たて糸(学校の取組)と よこ糸(家庭・地域の取組)がおりなす小千谷のひとづくり